

平成 29 年度

豊中市立図書館の中長期計画
(豊中市立図書館グランドデザイン)
進捗状況一覧表

- 図書館の使命と理念
- 概念図
- 4つの目標
- 28のプラン

平成 30 年 7 月

豊中市立岡町図書館

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・多様な資料や情報を収集・保存し提供することにより、すべての市民に知る機会を保障します。
- ・民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関として、その任務を果すことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて、教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等に優しい情報提供や読書環境を整備し、誰もが共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

<グランドデザイン 4つの目標と28のプラン 概念図>

「豊中市立図書館グランドデザイン」とは、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために、平成26年3月に策定されたものです。

1 市民と地域の自立を支えます

G サービス(a 利便性の向上)

- ⑳ 図書館活用の幅を広げる
- ㉑ 集会室利用の活性化

G サービス (b 地域との関係強化)

- ㉒ 市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援
- ㉓ 地域情報の活用機会の提供
- ㉔ 図書館サポーターへの参加機会の提供

2 利便性を向上させ、あらゆる情報を提供します

G サービス(a 利便性の向上)

- ⑰ セルフ貸出、返却、予約受取
- ⑱ 開館日数の拡充
- ⑲ 予約資料の受取場所の拡充
- ㉕ ICTの活用
- ㉖ 広域連携の拡大

今後10年に特化した4つの目標

3 地域課題の解決に尽力します

B 職員 (a 組織)

- ④ グループ制の導入
- ⑦ 館ごとの目標設定

B 職員 (b 人材育成)

- ⑧ 関連部局との人事交流

D 調査・分析

- ⑭ 調査分析

F 資料

- ⑯ 地域で必要とされる資料の提供

G サービス (b 地域との関係強化)

- ㉗ 地域情報の活用機会の提供

4 子どもの学びを支えます

B 職員 (b 人材育成)

- ⑪ 学校図書館を支援する人材の配置

目標実現を支えるプラン

A 図書館運営

- ① 最適な実施手法の確立
- ② 評価システム
- ③ 業務の改善・集中化

B 職員 (a 組織)

- ⑤ 職員の役割分担
- ⑥ 採用計画の作成

B 職員 (b 人材育成)

- ⑧ 関連部局との人事交流
- ⑨ 体系的な研修の実施
- ⑩ 先進事例の研究

C 施設・物流 (b 物流)

- ⑬ 柔軟な物流体制

C 施設・物流 (a 施設活用)

- ⑫ 施設配置の最適化

E 情報

- ⑮ 情報の積極的収集、共有・活用

G サービス(a 利便性の向上)

- ⑰ セルフ貸出、返却、予約受取
- ⑳ きめ細やかな接客

H 広報

- ㉘ 効果的な広報

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成29年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35(2023)年までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0~4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・28のプランを関連する4つの目標(1~4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。
- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 -:未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳・㉑・㉒・㉓・㉔	
優先的な取組プランと事例	達成状況 課題、平成30年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:㉔図書館サポーターへの参加機会の提供】 【事例】 ・庄内図書館では29年3月から本の修理を中心に月1回、サポーターの活動を開始し、30年1月からは月2回に回数を増やしました。 ・野畑図書館では29年6月から寄贈されたCDの装備を中心に月1回、サポーターの活動を行っています。	◎ 【課題】 ○継続したサポーターの募集および人材確保 ○多くの市民に参加してもらえよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り㉔ 【平成30年度に向けての取り組み】 引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。 ㉔
2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。 該当プラン ⑰・⑱・㉕・㉖・㉗	
優先的な取組プランと事例	達成状況 課題、平成30度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:⑱開館日数の拡充】 【事例】 ・岡町図書館の子ども室の開室時間の延長を29年7月～9月の間、試行で実施しました。 ・庄内幸町図書館の開館日を29年11月から週3日を開館とし、2階に自習・新聞閲覧スペースを設置しました。 ・利倉西センター図書室を29年7月に開室し、それにとともに、バス図書室を閉室し、「利倉西センター」「グリーンサイドマンション」への動く図書館の巡回も終了しました。	◎ 【課題】 ○千里図書館の開館日拡充後1年の効果検証。バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化 ○シフト勤務による職員間の連絡調整。シフト勤務等で月末整理日が休日にあたる職員の全体会議や研修への参加の機会保障⑱ ○コンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備⑱
【優先的取組プラン:㉕ 予約資料の受け取り場所の拡充】 【事例】 ・新たなサービスポイントの可能性としてコンビニエンスストアでの予約資料受取りについて検討チームを立ち上げました。検討に際し、職員派遣研修制度を活用し、所沢市の視察を行いました	○ 【課題】 ○次期図書館システムに向けての仕様の検討 ○歴史的音源やデジタル化資料送信などのサービスの周知⑳ ○システムの共同開発研究に関わる協力自治体の検討㉕

<p>【優先的取組プラン:⑳ICTの活用】 【事例】 ・国立国会図書館が配信する歴史的音源のサービス提供を岡町図書館および千里図書館で開始しました。 ・千里図書館のみで行っていた国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを岡町図書館でも開始しました。</p>	<p>【平成30年度に向けての取り組み】 ・岡町図書館こども室の開館時間試行延長の効果検証を行うとともに、実施に向けて検討します。 ・庄内幸町図書館の3階の開館日以外は職員を配置せず、2階自習・新聞閲覧スペースを警備員の巡回等により開放します。⑱</p> <p>○</p> <p>・予約資料を受け取るサービスポイントとして、コンビニエンスストアとの提携の実現に取り組みます。⑲</p>
<p>【優先的取組プラン:㉑】 広域連携の拡大】 【事例】 ・29年7月から北摂地区7市3町の広域利用、及び大阪市民に向けて庄内図書館限定で広域連携を開始しました。 ・北摂地区内の各図書館へ働きかけ、北摂広域利用統計のフォーマットを新たに作成し、全体の集約を行いました。</p>	<p>○</p> <p>・東豊中図書館、服部図書館においてセルフ予約棚の導入を行います。⑳</p> <p>◎</p> <p>・引き続き近隣の自治体とのシステムの共同開発研究の協力先を検討します。㉑</p>

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・㉒

優先的な取組プラン、事例	達成状況	課題、平成30年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑭調査分析】 【事例】 ・28年度までに行った町丁別人口と登録率の増減調査に基づき、強化地域へのPR方法を検討し、図書館のPRポスターを掲示しました。</p>	<p>○</p> <p>【課題】 ○市民アンケート(29年度実施)自由意見の分析と活用⑭</p> <p>【平成30年度に向けての取り組み】 29年度に実施された市民アンケート(自由意見)の分析を行い、そこから地域課題や市民ニーズをとらえ、地域に根ざした図書館としてのあり方を探り、PRにつなげていきます。⑭</p>	

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成30年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】 【事例】 ・「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード(概要版)」を小学校の全教員に配布しました。 ・学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。 ・学校図書館を活用した授業実践の支援に小学校に向きました。 ・知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、子ども読書活動フォーラムを開催しました。 ・小中一貫校における学校図書館の検討を進めました(小中一貫学校図書館プロジェクトチーム会議、(仮称)北校学校図書館担当者会)。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」のリプレイスを行い、その活用方法等の研修を実施しました。</p>	<p>○</p> <p>【課題】 ○教育センター、学校教育課と連携した、学校図書館教育に関する研修の充実 ○とよなかスタンダードの普及、充実 ○学校図書館を活用した授業実績(単元数)の学校へのフィードバック ○学校図書館活用データベースの活用推進 ○学校図書館の実務経験がある担当者の配置⑪</p> <p>【平成30年度に向けての取り組み】 ・教育センター、学校教育課と連携し、学校図書館教育に関する研修を実施します。 ・「とよなかスタンダード」のさらなる普及、充実に努めます。 ・「学校図書館を活用した授業実績(単元数)」の集約方法を見直し、学校へのフィードバックの手法を検討します。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」の学校司書及び教職員の活用促進を進めます。 ・ブックプラネット通信を発行し、情報の発信と共有に努めます。⑪</p>	

0. 1から4の目標実現を支えます。

該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉔

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成30年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】 【事例】 ・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ予約棚の検討を行いました。 ・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りの手法についても研究に取り組みました。 ・地域のニーズにあわせた図書館の機能変更として庄内幸町図書館において開館日を週6日から3日にするとともに、2階に自習・新聞閲覧スペースを設け、職員は常駐しない形で週6日の開放を開始しました。</p>	○	<p>【課題】 ○セルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備 ○事務事業の見直しの状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有① ○各館の業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化②</p>
<p>【優先的取組プラン:②評価システム】 【事例】 簡略化した評価作業による28年度分の評価項目表を「豊中市の図書館活動」に掲載しました。さらに、図書館協議会委員や市民公募委員等からなる「豊中市立図書館協議会評価部会」を設置。当部会において、図書館の運営状況に関する課題を、「自己点検報告書」、「図書館利用者アンケート調査」などから抽出しました。あわせて図書館が28年度までに設定した達成目標に対して、外部評価を行いました</p>	○	<p>○組織における職域ごとの業務の洗い出し、司書以外の職域の職員に向けての業務の切り出し等 ○組織の合意形成や課題解決力を高める効率的・効果的な会議の持ち方 ○「豊中市人材育成基本方針」に基づく各職階の職員が果たすべき役割と必要な能力・資質についての認識⑤ ○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化 ○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および事業の継続性の確保⑥</p>
<p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】 【事例】 ・分館の機能見直しにともない、担当者連絡会や施設長・副館長会議を通じ、エリア内や地域館間の協力体制について検討しました。 ・教育委員会総務付の一般職非常勤職員が担当する業務を一覧にし、全館で共有しました。 ・引き続き会議の効率化・迅速化をはかるために、貸出室・子ども室の各担当者連絡会に議論内容をつなぐ役割として、施設長・副館長のなかから1名ずつ配置しました。</p>	○	<p>○中央館機能を持った図書館を核とした施設配置のあり方⑫</p>

<p>【優先的取組プラン:⑥採用計画の作成】 【事例】 事務事業の見直し進捗管理(総務部行政総務課主管: (元)特定事業の見直し)において、図書館事業総コスト・ 「公共施設総合管理計画」における考え方などの全体像 のなかで、職員に関する議論も継続して行いました。</p>	△	<p>【平成30年度に向けての取り組み】 ・東豊中図書館・服部図書館のセルフ予約棚設置およびコン ビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、取り組みを すすめます。①</p> <p>・図書館協議会からの報告「(仮)豊中市立図書館の運営状況 に関する評価報告書」に基づき、豊中市立図書館評価システ ム評価項目表、29～33年度までの達成目標を設定し、「豊中 市の図書館活動」にその報告を掲載する予定です。さらに、グ ランドデザインの間年にあたることから、今回の評価の結果 をランドデザインへどう反映していくのか検討します。②</p>
<p>【優先的取組プラン:⑫ 施設配置の最適化】 【事例】 ・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能 について検討しました。 ・図書館が身近にない利倉西地区においてバス図書室 を廃止し、利倉西センター図書室を設置しました。</p>	○	<p>・業務分担の再検討を行い地域館と分館の役割を明確にして いきます。 ・「豊中市人材育成基本方針」で求められる職員の姿に対し て、各職階で自身の日常的な職務行動を振り返り、個々の具 体的な目標達成に向けて取り組みます。⑤</p> <p>・他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館 内部の業務研修を引き続き実施します。 ・セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担減少につ なげます。⑥</p> <p>・「公共施設総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論 をふまえ、中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や 機能分担の在り方について検討をすすめます。⑫</p>

グランドデザインの 28 のプラン

優先順位 A：最優先 B：優先 C：通常

達成度◎：年度内に予定した取り組みを十分達成できた ○：おおむね達成できた

△：一部達成 -：未達成

	項目	達成状況と課題、予定
A 図 書 館 運 営	① 【最適な実施手法の確立】 サービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくとともに、地域特性をふまえた特色ある図書館づくりを進めていくため、サービス及び経営の両面から業務の実施主体の見直しも含め、最適な実施手法を確立していきます。	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ予約棚の検討を行いました。 ・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りの手法についても研究に取り組みました。 ・地域のニーズにあわせた図書館の機能変更として庄内幸町図書館において開館日を週 6 日から 3 日にするとともに、2 階に自習・新聞閲覧スペースを設け、職員は常駐しない形で週 6 日の開放を開始しました。 <p>【現状】</p> <p>庄内幸町を除く市内地域館、分館すべてに設置されたセルフ貸出機の活用をすすめています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備 ○事務事業の見直しの状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有 <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>東豊中図書館・服部図書館のセルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、取り組みをすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
A 図 書 館 運 営	② 【評価システム】 「豊中市立図書館評価システム」に基づき、事業目的に合わせたサービス提供を検討します。	<p>【平成 29 年度事例】</p> <p>簡略化した評価作業による 28 年度分の評価項目表を「豊中市の図書館活動」に掲載しました。さらに、図書館協議会委員や市民公募委員等からなる「豊中市立図書館協議会評価部会」を設置。当部会において、図書館の運営状況に関する課題を、「自己点検報告書」、「図書館利用者アンケート調査」などから抽出しました。あわせて図書館が 28 年</p>

		<p>度までに設定した達成目標に対して、外部評価を行いました。</p> <p>【現状】 グランドデザイン（35年度まで）の進捗管理を優先しています。29年度実施の自己点検評価及び評価部会の外部評価を考慮し、評価項目や目標値のあり方について精査をおこなっています。</p> <p>【課題】 ○各館の業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成30年度の予定】 図書館協議会からの報告「（仮）豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」に基づき、豊中市立図書館評価システム評価項目表、29～33年度までの達成目標を設定し、「豊中市の図書館活動」にその報告を掲載する予定です。さらに、グランドデザインの間年にあたることから、今回の評価の結果をグランドデザインへどう反映していくのか検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p>A 図 書 館 運 営</p>	<p>③ 【業務の改善・集中化】 図書館業務の改善・集中化を進めます</p>	<p>【平成29年度事例】 7月に、豊島西バス図書室および動く図書館のステーション2か所を統合する形で利倉西センター図書室が開室しました。さらに、11月より庄内幸町図書館の機能を変更し、3階貸出室を週3日の開館とするとともに、2階を新たに自習・閲覧スペースとして火曜日から日曜日まで開放しています。</p> <p>【現状】 セルフ貸出機の利用促進により、さらなる業務の効率化と利便性の向上を図っています。</p> <p>【課題】 ○地域館および分館の機能分担</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成30年度の予定】 庄内図書館と庄内幸町図書館の一体的運営をすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>④ 【グループ制の導入】 全市的な課題に基づいた グループ制を導入します</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料運用グループおよび貸出室担当職員が野畑図書館の書庫内の蔵書の見直し作業に取り組みました。 ・分析 PR においては、28 年度の地域分析に基づいたポスター掲示や転入者向けの図書館 P R チラシの作成・増刷、また各館参考室の調査協力を得て広報とよなか「豊中タイムスリップ」作成に関する資料提供を行っています。 ・児童サービス担当者連絡会では、購入や除籍を迷う児童書の情報共有・検討を行っています。 ・高齢者サービス担当窓口が中心となって、高齢者支援課と連携し、5 館で認知症サポーター養成講座を実施しました。 <p>【現状】</p> <p>成人・児童サービス担当者連絡会への施設長・副館長の参加や、施設長・副館長会議に地域館長が参加するなど、組織内での意思決定や情報共有が円滑になるよう努めています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域館長会議、施設長・副館長会議および各グループ、担当者間の情報共有 ○意思決定の迅速化 <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑤ 【職員の役割分担】 職員の役割分担を明確に します</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分館の機能見直しにともない、担当者連絡会や施設長・副館長会議を通じ、エリア内や地域館間の協力体制について検討しました。 ・教育委員会総務付の一般職非常勤職員が担当する業務を一覧にし、全館で共有しました。 ・引き続き会議の効率化・迅速化をはかるために、貸出室・こども室の各担当者連絡会に議論内容をつなぐ役割として、施設長・副館長のなかから 1 名ずつ配置しました。 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループウェアを通じて、教育委員会総務付一般職非常勤職員への業務依頼を全館から募り、集約・調整をはかっています。 <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

		<p>・分館の機能見直しを通じて、恒常的な業務や定例化している事業の必要性の再検討を行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>○組織における職域ごとの業務の洗い出し、司書以外の職域の職員に向けての業務の切り出し等</p> <p>○組織の合意形成や課題解決力を高める効率的・効果的な会議の持ち方</p> <p>○「豊中市人材育成基本方針」に基づく各職階の職員が果たすべき役割と必要な能力・資質についての認識</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>・業務分担の再検討を行い地域館と分館の役割を明確にしていきます。</p> <p>・「豊中市人材育成基本方針」で求められる職員の姿に対して、各職階で自身の日常的な職務行動を振り返り、個々の具体的な目標達成に向けて取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
B 職 員 a 組 織	⑥ 【採用計画の作成】 常勤職員の年齢構成バランスを考慮した採用計画を作成します	<p>【平成 29 年度事例】</p> <p>事務事業の見直し進捗管理（総務部行政総務課主管：(元) 特定事業の見直し)において、図書館事業総コスト・「豊中市公共施設等総合管理計画」における考え方などの全体像のなかで、職員に関する議論も継続して行いました。</p> <p>【現状】</p> <p>・平成 32 年度までの職員数変動予測に則り管理しています。</p> <p>・平成 29 年度新規採用職員、平成 29 年度末定年退職者（司書）はともに 0 名でした。</p> <p>【課題】</p> <p>○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化</p> <p>○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および事業の継続性の確保</p> <p style="text-align: right;">【達成度：△】</p>

		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。 ・セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担減少につなげます。 <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
B 職 員 a 組 織	⑦ 【館ごとの目標設定】 地域課題に基づいた館ごとの目標を設定します	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28 年度に引き続き、館の目標をより身近なものとするため、一部の館ではポスターを作成し日常的に意識できるようにしました。 ・利用者アンケートを行い、集約された各館個別の要望を共有しました。 <p>【現状】</p> <p>グランドデザインに沿った各館の目標を設定し、事業に取り組んでいます。目標の振り返りと次年度にむけての目標設定は年間の予定として定着し、内容も具体化してきています。</p> <p>【課題】</p> <p>○アンケート結果からの地域課題の見直し</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>組織目標およびアンケート結果等をふまえ引き続き地域課題に基づいた館の目標を設定します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑧ 【関連部局との人事交流】 関連部局との人事交流を行います	<p>【平成 29 年度事例】</p> <p>図書館での事業の理解を深めるために、人事交流の職員を対象に、年度当初に図書館のおもな取り組みに関する研修を実施しました。また日常業務に慣れるよう、人材育成を担当する職員を配置しました。人事交流を終了して図書館職場に復帰した職員から、その経験を全体職員会議で報告してもらうとともに、本庁からの人事交流職員による研修（高齢者支援の制度）を野畑、庄内図書館で実施しました。</p> <p>【現状】</p> <p>学校司書 1 名、常勤職員と他部局との人事交流（平成 27 年度、平成 29 年度それぞれ 1 組）を行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>○26 年度からの成果と課題をふまえた研修の実施</p>

		<p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 30 年度の予定】 人事交流を引き続き実施していきます。また継続的に実施できるよう、研修の充実をはかります。人事交流の経験者からの報告を全体で共有するとともに、他部局の常勤職員を対象とした制度の PR も引き続き行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑨ 【体系的な研修の実施】 これからの図書館サービスに必要な人材育成のため、より体系的な研修を行います	<p>【平成 29 年度事例】 人権研修の一環として全職員を対象に、図書館所蔵の人権問題資料および利用制限資料について現物を確認し、図書館職員として知っておくべき資料について学びました。 児童図書館員専門講座を受講した職員による報告を研修の形で行いました。あわせて図書館評価についても講師派遣された職員による報告がありました。</p> <p>【現状】 市主催の各種政策課題に関する研修をはじめ、大阪府や図書館関係団体による研修について、各職員の経験や勤続年数を考慮し派遣しています。受講生は、全体会議の場やグループウェアを活用して他の職員と研修成果を共有します。</p> <p>【課題】 ○さまざまな雇用形態の新規採用者について仕事上の相談や指導のしくみの充実 ○研修報告の共有と研修を活かした実践</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 30 年度の予定】 ・児童図書館員養成講座または図書館司書専門講座を職員が継続して受講できるように取り組みます。 ・引き続き豊中市立図書館独自の研修プログラムを実施するとともに、ヒアリングや人材育成担当者を設定する等の工夫に注力します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

<p>B 職員 b 人材 育成</p>	<p>⑩ 【先進事例の研究】 先進事例などの研究を業務として行うしくみを整え発信します</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなサービスポイントの可能性として職員派遣研修支援制度等を活用し、他市の視察を行いました。 ・箕面市立中央図書館・吹田市立中央図書館のセルフ予約棚の視察を行い、東豊中図書館・服部図書館での導入を検討しました。 <p>【現状】</p> <p>実施していくべき事例ごとに研究・検討していく担当者を決め、先進事例の研究を行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>○先進事例に関する情報収集・研究を行い、実施に向けて検討を進める中での職員全体への発信・情報共有の徹底</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>次期システムリプレイスに向けて、先進事例などの研究を行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p>B 職員 b 人材 育成</p>	<p>⑪ 【学校図書館を支援する人材の配置】 学校図書館を支援する人材を配置します</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード（概要版）」を小学校の全教員に配布しました。 ・学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。 ・学校図書館を活用した授業実践の支援に小学校に出向きました。 ・知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、子ども読書活動フォーラムを開催しました。 ・小中一貫校における学校図書館の検討を進めました（小中一貫学校図書館プロジェクトチーム会議、（仮称）北校学校図書館担当者会）。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」のリプレイスを行い、その活用方法等の研修を実施しました。 <p>【現状】</p> <p>読書振興課に配置された指導主事と公共図書館司書 2 名の計 3 名で、研修の企画・実施、学校図書館システム管理等を実施しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○教育センター、学校教育課と連携した、学校図書館教育に関する研修の充実</p> <p>○とよなかスタンダードの普及、充実</p> <p>○「学校図書館を活用した授業実績（単元数）」の学校へのフィードバック</p>

		<p>○学校図書館活用データベースの活用推進 ○学校図書館の実務経験がある担当者の配置</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育センター、学校教育課と連携し、学校図書館教育に関する研修を実施します。 ・「とよなかスタンダード」のさらなる普及、充実に努めます。 ・「学校図書館を活用した授業実績（単元数）」の集約方法を見直し、学校へのフィードバックの手法を検討します。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」の学校司書及び教職員の活用促進を進めます。 ・ブックプラネット通信を発行し、情報の発信と共有に努めます。 <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
C 施設 ・ 物流 a 施設 活用	⑫ 【施設配置の最適化】 施設配置の最適化を図ります	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能について検討しました。 ・図書館が身近にない利倉西地区においてバス図書室を廃止し、利倉西センター図書室を設置しました。 <p>【現状】</p> <p>豊中市市有施設有効活用計画において検討を行い、事務事業としての進捗状況を発表しました。総務部行政総務室「事務事業の見直しの進捗状況 平成 30 年 3 月公表 p.17～p19」参照</p> <p>【課題】</p> <p>○中央館機能を持った図書館を核とした施設配置のあり方</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論をふまえ、中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や機能分担の在り方について検討をすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
C 施設	⑬ 【柔軟な物流体制】 市民に効率的に資料・情	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流量は前年度並みで、円滑な物流を維持することができました。

設 ・ 物 流 b 物 流	報を届ける柔軟な物流体制を整えます	<p>・今後のサービスポイントの拡充や、それに伴う予約件数の増加にも対応できる物流体制について検討を始めました。</p> <p>【現状】 曜日において物流の量が増えることから、大量の資料の移動については送り出す日を調整するなど、円滑な物流体制の維持に取り組んでいます。</p> <p>【課題】 ○物流の増加やサービスポイントの拡充にも対応できる物流体制の整備</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】 新たなサービスの拡充にも対応できる物流体制について検討し、円滑な資料提供と魅力的な書架づくりをめざします。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
D 調 査 ・ 分 析	⑭ 【調査分析】 全市的な視野で調査分析を行い、市民ニーズに沿った適切な図書館サービスを提供します	<p>【平成 29 年度事例】 28 年度までに行った町丁別人口と登録率の増減調査に基づき、強化地域への PR 方法を検討し、図書館の PR ポスターを掲示しました。</p> <p>【現状】 規模の大きな集合住宅や宅地の建設が予定されている地域もあり、変化に応じて定期的な調査分析を行う必要があります。</p> <p>【課題】 ○市民アンケート（29 年度実施）自由意見の分析と活用</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】 29 年度に実施された市民アンケート（自由意見）の分析を行い、そこから地域課題や市民ニーズをとらえ、地域に根ざした図書館としてのあり方を探り、PRにつなげていきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
E 情 報	⑮ 【情報の積極収集、共有・活用】	<p>【平成 29 年度事例】 ・事務連絡として適宜、関連する庁内情報を図書館内のグループウェアで提供し、行政職員として必要な情報共有に取り組みました。</p>

	<p>サービスに有効な情報を各職員が積極的に収集し、共有・活用します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスチームの担当職員が他部局の取り組みに参加し、持ち帰った情報から服部緑地都市緑化植物園へ動く図書館が出勤する機会につながりました。 ・「全国公共図書館研究集会」（児童・青少年部門）等の子ども読書活動に関する情報を子ども読書活動連絡会委員に提供しました。参加した委員から第2回子ども読書活動連絡会での報告の申し出があり、報告後のワークで共有・活用しました。 ・「まわしよみ新聞」等の情報を積極的に収集、職員に共有しました。 <p>【現状】 グループウェアでの情報共有、会議の実施など、課題に応じて限られた時間の中で効果的な手法を選択し、情報共有に取り組んでいます。</p> <p>【課題】 ○全職員の意識的な情報の積極収集、情報の質・提供方法の判断</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】 各職員が知りえた情報について、全体会議、グループウェア、担当者連絡会、館内ミーティングなど、提供に適した機会・方法によって共有に努めます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
<p>F 資 料</p>	<p>⑩ 【地域で必要とされる資料の提供】 地域の課題と利用の動向をさらに細やかに分析し、地域で必要とされている資料を提供します。</p>	<p>【平成 29 年度事例】 来館者アンケートを実施しました。</p> <p>【現状】 規模の大きな集合住宅や宅地の建設が予定されている地域もあり、変化に応じて定期的な調査分析を行う必要があります。</p> <p>【課題】 ○統計処理および分析に関連する知識・技能の習得</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 30 年度の予定】 地域課題の調査分析を進め、東豊中図書館、服部図書館において多機能化の実施に取り組みます。各館において分類ごとの利用状況を把握し、地域のニーズに応じた書架づくりに取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

<p>G サ ー ビ ス a 利 便 性 の 向 上</p>	<p>⑰ セルフ貸出・返却・予約受取ができる環境を整えます</p>	<p>【平成 29 年度事例】 東豊中図書館、服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ予約棚の検討を行いました。</p> <p>【現状】 庄内幸町図書館を除く市内地域館、分館すべてに設置されたセルフ貸出機の活用をすすめています。</p> <p>【課題】 ○セルフ予約棚設置に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <hr/> <p>【平成 30 年度の予定】 東豊中図書館および服部図書館のセルフ予約棚設置の実施に向けて、取り組みをすすめます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
<p>G サ ー ビ ス a 利 便 性 の 向 上</p>	<p>⑱ 開館日数等を拡充します</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館のこども室の開室時間の延長を 29 年 7 月～9 月の間、試行で実施しました。 ・庄内幸町図書館の開館日を 29 年 11 月から週 3 日を開館とし、2 階に自習・新聞閲覧スペースを設置しました。 <p>・利倉西センター図書室を 29 年 7 月に開室し、それにともない、バス図書室を閉室し、「利倉西センター」「グリーンサイドマンション」への動く図書館の巡回も終了しました。</p> <p>【現状】 千里図書館では、引き続き休館日であった月曜日を開館するとともに 5 日間の資料点検中の予約 e 棚開放について広く周知し、利用の拡大につとめました。</p> <p>【課題】 ○千里図書館の開館日拡充後 1 年の効果検証。バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化 ○シフト勤務による職員間の連絡調整。シフト勤務等で月末整理日が休日にあたる職員の全体会議や研修への参加の機会保障</p>

		<p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p> <p>【平成 30 年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館子ども室の開館時間試行延長の効果検証を行うとともに、実施に向けて検討します。 ・庄内幸町図書館の 3 階の開館日以外は職員を配置せず、2 階自習・新聞閲覧スペースを警備員の巡回等により開放します。 <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
G サービス a 利便性の向上	⑱ 予約資料の受取場所の拡充を検討します。	<p>【平成 29 年度事例】</p> <p>新たなサービスポイントの可能性としてコンビニエンスストアでの予約資料受取りについて検討チームを立ち上げました。検討に際し、職員派遣研修制度を活用し、所沢市の視察を行いました。</p> <p>【現状】</p> <p>サービスポイントの拡充として、コンビニエンスストアでの予約資料受取りについて検討しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○コンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>予約資料を受け取るサービスポイントとして、コンビニエンスストアとの提携の実現に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サービス a 利便性の向上	⑳ ICTを活用したサービスを提供します	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館が配信する歴史的音源のサービス提供を岡町図書館および千里図書館で開始しました。 ・千里図書館のみで行っていた国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを岡町図書館でも開始しました。 <p>【現状】</p> <p>セルフ予約棚の設置について先進事例を参考に仕様を検討しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○次期図書館システムに向けての仕様の検討</p>

		<p>○歴史的音源やデジタル化資料送信などのサービスの周知</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>東豊中図書館、服部図書館においてセルフ予約棚の導入を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サービス a 利便性 の 向上	⑳ 広域連携のさらなる拡大を行います。	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 29 年 7 月から北摂地区 7 市 3 町の広域利用、及び大阪市民に向けて庄内図書館限定で広域連携を開始しました。 ・ 北摂地区内の各図書館へ働きかけ、北摂広域利用統計のフォーマットを新たに作成し、全体の集約を行いました。 <p>【現状】</p> <p>北摂地区広域利用及び大阪市との広域連携について関係市町と情報共有をはかりながらサービスの提供をすすめています。</p> <p>【課題】</p> <p>○システムの共同開発研究に関わる協力自治体の検討</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>引き続き近隣の自治体とのシステムの共同開発研究の協力先を検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
G サービス a 利便性 の 向上	㉑ よりきめ細やかな接客を行います	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千里図書館では、千里公民館で実施された傾聴についての講座「人生が変わる聞き方講座～心豊かなコミュニケーションとは～」に参加しました。 ・ 庄内図書館では 28 年度の岡町図書館に引き続き、職場研修「職場接遇カスギルアップ研修」(実地調査)と調査結果にもとづいた「フォローアップ研修」を実施し、外部講師からアドバイスを受け、サービスマナーの向上に努めました。 <p>【現状】</p> <p>セルフ貸出機の導入によりカウンター対応の余裕が生じたことから、</p>

		<p>フロアワークや利用者に対するよりきめ細かい対応ができるよう取り組んでいます。</p> <p>【課題】 ○28 年度に引き続き、セルフ貸出機導入の効果を踏まえたフロアワークの充実</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】 引き続き、研修等による接遇の向上をめざします。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">G サ ー ビ ス a 利 便 性 の 向 上</p>	<p>㊸ サービスを具体的に例示し、図書館活用の幅を広げます</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」や図書館サポーターの研修の場で図書館のサービスについて紹介しました。 ・岡町図書館紹介のスライドショーを作成し、ビジネスゼミナール開始前に上映しました。 ・来館者アンケートで図書館が現在実施しているサービスを列挙し、満足度を問いました。 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で、また行事開始までの間などに、図書館のサービス内容をお知らせする取組みが増えています。 ・中学生の職場体験学習や高校生のボランティア体験でいろいろな仕事を経験してもらっています。 <p>【課題】 ○サービスの例示を利用者の活用にまで結びつけるアピールの方法</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】 スライドや動画など、いろいろなメディアを活用した図書館サービスや活動のお知らせについて引き続き研究します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>

Gサービスa 利便性の向上	<p>②4 集会室の利用を活性化します。</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高川図書館では、行事開催以外の時間において、「ぶらりあん」を自習室として開放しました。28 年度に引き続き書庫内レコードの展示も同室で開催、貴重な所蔵資料にふれる機会を提供することができました。昨年度創設したフリースペース（ほっとサロン）において自習室を中心に「地域子ども教室」、「カフェマカロン」（サポートセンター一歩 就労移行支援事業）、「おしゃべりしてもええんや DAY」などを実施しました。 ・野畑図書館では昨年度に引き続き夏休み中、児童集会室を自習に開放し、さらに 2 階ロビーに机と椅子を配置、フリースペースとして活用しました。 ・庄内図書館 3 階協働事業スペースでは、通常のしょうない REK の取り組みのほか、図書館サポーターの活動や自習スペースとすることで多様な活用をめざしました。 <p>【現状】</p> <p>図書館の定例行事と登録団体の定期利用が中心となっています。自習スペースにおいては、児童生徒等への安全管理に配慮を行っています。また事業の内容によっては、音等の問題もあり他の利用者に理解いただけるよう事前周知を行ったうえで実施しています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用の固定化 ○一般開放した際の安全管理 ○フリースペースを活用する担い手 ○目的と時間を考慮して区分し、スペースを利用する方法（ゾーニング、タイムシェアリングなど） ○集会室利用者の資料活用へつなげる仕組みづくり <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
	<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>集会室とともに館内にある有効スペースを活かし、図書館の利用促進と地域の課題解決につなげていきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>	
Gサービスb 地域と	<p>②5 豊かな市民力を育む生涯学習の情報基盤としての公共図書館の役割をはたし、市民の社会参加や地域との関わりづくりを</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <p>「北摂アーカイブス」や「しょうない REK」など既存の市民協働事業に加えて、図書館サポーターの取り組みにより市民のあらたな社会参加の場を提供しました。</p>

	<p>支援します</p>	<p>【現状】 「北摂アーカイブス」「しょうないREK」の活動を通して、市民の社会参加への一助となっています。「知の拠点」とする図書館機能のよいPRにもなっています。また他課と連携した市民参加の事業にも取り組んでいます。</p> <p>【課題】 ○市民にむけた図書館の役割の周知 ○市民の社会参加に対するニーズの把握 ○図書館サポーターの自主的な活動への移行</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p> <hr/> <p>【平成 30 年度の予定】 ・引き続き「北摂アーカイブス」「しょうないREK」の事務局として活動に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">Gサービスb地域との関係強化</p>	<p>㊾ 地域の情報を収集・提供・保存し、市民が地域情報を活用する機会を提供します</p>	<p>【平成 29 年度事例】 ・ウィキペディアタウンに関する情報を収集し、事務局として北摂アーカイブスに提供し、マッピングパーティー、ウィキペディアタウン in 豊中「とよ散歩」を開催しました。 ・広報掲載の「とよなかタイムスリップ」の記事作成に、北摂アーカイブスの写真資料を提供しています。また広報広聴課が新たに撮影した現在の様子を北摂アーカイブス上で公開しています。 ・人権研修で実際に地域の歴史について歩きながら聞くことで、身近な問題として考える機会となりました。また所蔵資料について知る機会を設定し、適切に資料提供できるよう研修を行いました。 ・岡町図書館に詩碑がある豊中ゆかりの詩人、峠三吉の生誕 100 年にあたって峠三吉のミニ展示を行い、人権講座で朗読と講演会を開催しました。</p> <p>【現状】 北摂アーカイブスにおいては、地域の記憶を記録に残す取り組みとして、市民に知られる機会が増え、新たな「地域フォトエディター」の参加もみられます。</p> <p>【課題】 ○収集した写真データを迅速にウェブサイトで公開できるようにキャプション作成方法等、公開のための準備作業の見直し ○地域フォトエディターの継続した募集および人材確保</p>

		<p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>フォトエディターとともに、写真資料の募集と編集作業を継続して行います。公開勉強会として地域の魅力をより深く知るための講演会や、編集・発信の手法を学ぶワークショップ等を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">G サ ー ビ ス b 地 域 と の 関 係 強 化</p>	<p>⑳ 図書館サポーターへの参加機会の提供を行います</p>	<p>【平成 29 年度事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内図書館では 29 年 3 月から本の修理を中心に月 1 回、サポーターの活動を開始し、30 年 1 月からは月 2 回に回数を増やしました。 ・野畑図書館では 29 年 6 月から寄贈された CD の装備を中心に月 1 回、サポーターの活動を行っています。 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内図書館では 99 人が参加し、684 冊の本の修理や装備ができました。また、野畑図書館では 84 人が参加し、812 枚の CD ケースの修理や点字の作成などを行いました。完成した CD や本は各図書館で利用されています。 ・12 月から庄内幸町図書館 2 階の自習・新聞閲覧スペースの見守りサポーターの募集を開始しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○継続したサポーターの募集および確保 ○多くの市民に参加してもらえるよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p> <p>【平成 30 年度の予定】</p> <p>引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">H 広 報</p>	<p>⑳方針を定めて効果的な 広報を行います</p>	<p>【平成 29 年度事例】 広報の連載記事「とよなかタイムスリップ」では主に北摂アーカイブスの写真資料を参考に記事作成がなされています。図書館では参考室を中心に記事に関連する情報提供を行っています。また広報広聴課が新たに撮影した現在の様子を北摂アーカイブス上で公開しています。本年も引き続き、公・民が広く参加する「まちライブラリー BOOK FESTA」に参加しました。</p> <p>【現状】 ・「北摂アーカイブス写真展」を岡町図書館・蛍池図書館・千里図書館で実施し、「とよなかタイムスリップ」で紹介された写真なども展示を行いました。 ・市民課の協力を得て転入者へ図書館利用のチラシも配布しており、同チラシに印刷されている申込書で新規登録をされる方も各館で見受けられます。</p> <p>【課題】 ○市民協働研修以降の各館の気付きや実践の総括、来館者アンケートの結果分析のPRへの活用</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
	<p>【平成 30 年度の予定】 ・広報広聴課と連携した広報の企画を継続して進めます。 ・動画ソフトなどを活用した図書館のPRの実施に向けて検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>	